認知症は誰にも起こり得る病気。 早期発見・早期対応が 大事なんです。

認知症サポート医 沼津大山クリニック 大山医師

し方次第で変わることがあります

記憶障害 見当識障害

不安 • 興奮 徘徊等

医療機関で診断を受けま

まずは 外から 早期発

備をする時間があったの

も良か

った

接することができたところです

また、家族が将来の介護に向けて

方ない」と家族が受け止め、怒らずに

そして母のもの忘れを「病気だから仕 気持ちを楽にすることができたこと。

「夕食なんて食べていない」など体験そ

□ 同じ話を繰り返し聞く、話す □ 最近のことや今しようとしたこと

□ 約束の日時や場所をよく忘れる

□ 身なりに構わなくなった

不安を感じることがあれば

受診してみましょう

□ 料理や掃除など今までできていた ことができなくなった

れています。

認知症の早期発見は、

周囲が早く

護が始まってもアナウン

の仕事との両立が図

た。現に母の本格的な介

司会業に方向転換しまし

ましたが、母の病気がわかってからは

追いかけ、

関東で一人暮らしをして

ころです。

当時、

私は舞台女優の夢

こんなことありませんか?

を忘れる

のメニュー、

出せたりするときは心配ありません。

のものを忘れて思い出せないのが、

の一部を忘れたりヒントがあると思い 違うんですよ。例えば「昨日の夕食 年齢相応のもの忘れと違うんですか 何だったかな?」と体験

誰にもあり得る病気だから

識や受診のポイントなどを伺いました。 知ってほしいですね」と話す認知症サ が肝心です。認知症を恐れず、 「どんな病気も早期に発見すること ト医の大山医師に、 病気の基礎知 正 し く

戦障害などの「中核症状」と、環境や人害、時間や場所がわからなくなる見当実態です。 最近のことを忘れる記憶障状態です。 最近のことを忘れる記憶障 る脳の病気で、 り働きが悪くなったりするために起こ 日常生活に支障が出る

認知症は脳の細胞が死んでしまっ

「認知症」って何ですか。

見えない脳のことだからこそ、 見・早期対応がカギなのです。 なることもあります。だから、 出ている場合には、 別の病気が原因で認知症に似た症状が できませんが、投薬などで進行を遅ら せることが可能になっています。 認知症は現在の医療では治すことが 認知症は治らないのですか。 治療で症状が良く

また、

大の利点は、

もの忘れに落ち込む母の

間関係等が絡み合って起こる不安や興

徘徊などの「周辺症状」があります

周辺症状の現れ方は、

介護や周囲の接

相談してみましょう。認知症対応医療機関に

してみましょう。

などに相談するとよいです。

かかり

0

け医がいない

なることがあったらすぐかかりつけ医

らす親御さんの様子も気に掛け、

気に

しの人が増えていますよね。

離れて暮

一人暮ら

感じることが大切です。

家族や周囲の人が何か様子が違う

受診のポイントは何ですか。

市内の認知症対応

60歳でアルツハイマー

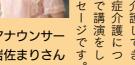
型認知症の診断

したが58歳で軽度認知障害(MCI)、

を受けました。早くに診断を受けた最

私の母は、 趣味や活動の場を広げてみま 55歳でもの忘れが始ま

認知症介護につ



介護者の経験から

た岩佐さんからメッセージですいて今年1月に市内で講演をした経験を交え、認知症介護につ

世代へつないでいく大切な機会ともいえるでしょう。 の割合は今後も高い水準で推移すると予想されています。 寿を祝う日です。人生の先輩が積み重ねてきた経験を大切にし、 沼津市で暮らす65歳以上の高齢者は6万人余り。高齢化率は約33%で、 9月15日は敬老の日。 長年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬

思いを次の者を敬い、長

ń

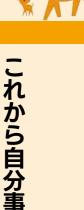
病気や、 その予備群になるとされています。また、65歳未満で発症する「若年性認知症」 働省の推計では、近い将来、日本全体で高齢者の3・6人に1 あまり その発症平均年齢が51歳と若く、 全国でも3万人以上いると見込まれています。若年性認知症という 高齢者の増加とともに増えているのが、 知られて 身近な病気となっている認知症。 友達が、認知症となるかもしれません。 約3割が50歳未満で発症して 認知症の人です。 今は無縁であって 人が認知症と

今回の特集では、 支え合うヒントを紹介します。 認知症に対する理解を深めるとともに、 認知症の正しい理解について、

身近な人の変化

問長寿福祉課(基幹型地域包括支援センター) **2**055 · 934 · 4865





認知症を知ろう



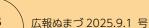












家族が将来の介護に向けて考え話し合 心の安定につなげられるだけでな ら病気を理解し接することで、